



新年、あけましておめでとうございます

2021年 元旦

囲いを取ろうよ、自分という囲いを

— 新年寸感 —

山田 勘一

更生保護法人ウィズ広島 理事長



コロナと共に、新しい年が巡ってきました。ゆく歳月は人を待たず、河の流れるように留まることなく、人々を次の時代へと送り生きる道を選ばせませぬ。新型コロナウイルス感染再拡大は最大の第3波となり危機のさなかにあります。更生保護施設もその渦中であってコロナ以前の日常に戻ることはできません。もちろん私の日常も。

コロナ以後は、めっきり街歩き書店巡りをしなくなりました。自宅であってネット通販で話題の本を探しています。そのなかで出会った1冊に河出文庫、柳美里『JR上野駅公園口』があります。1933年に生まれた福島出身の男性が主人公ですが、同じ年に生まれ同時代を生きた私には、「また、あの音が聞こえる。あの音一。」という、鎮魂歌のような小説の書き出しに引きつけられました。私には、東京に出稼ぎホームレスになるという半生こそありませんが、

主人公と同年、同じ時代的な原体験をもつだけに、巧妙な方言づかいや上野公園の描写、ふたりの天皇への眼差しの違いなどその1つ1つにうなずくものがあります。

上野公園は懐かしい場所です。コロナ以前は、会議などで上京した折、翌日よく上野公園を歩いて帰広の時間を調整しました。初夏の風が流れる日でした。上野の森噴水公園のベンチは、若い人でいっぱいでした。ただ1つ、高齢のホームレスのそばが空いています。私はそこに座り声をかけました。「今日はあったかいね」「ふむ、あったかい」「昨日は、気温が低く大変だったでしょう?」「いや、身体を鍛えているから大丈夫だ」…。自称71歳ホームレスの口は少しずつほぐれ、父親は大酒を飲み、母に暴力を振るい、夕食の卓袱台を返し、畳の上のご飯を食べろといった。兄や自分は度々家を出たな…問わず語りに話しました。夜

は食堂街のビルの軒先、アメ横の店のテントの下で寝る…。妻の死後、孫娘に置手紙を残して上京、ホームレスとなる『JR上野駅公園口』の主人公と重ね合わせるのです。

それにしても私たちは、ホームレスやウィズ広島を仮の居場所とする人、退所した後に故郷に帰れない人など地域共同体から切り離れた人々、1人1人の「違う顔」と向き合ってきたかという思いが募り、自分という囲いを取ろうよと呼びかけます。それがウィズコロナ時代の新しい生き方だと思えるからです。若いひとりの女性が、ロンドンの古書店で『JR上野駅公園口』と出会い、自分という囲いをとって柳美里さんを訪ね、東日本大震災の被災者の経験を聴きつづけて作家の思いを掘り起こした、英訳版『JR上野駅公園口』は全米図書賞に輝きました。その話題に誘われて私も『JR上野駅公園口』と出会ったのです。コロナ時代に入った二度目の新年ですが、自分の囲いをとって赦された人生を生きたいと思ひます。今年もよろしくご支援をお願いいたします。

2021.1.1

利用者数は伸びず、

2020(令和2)年度 上半期(令2.4～令2.9)事業成績の状況

◆利用者人数

令和2年度上半期に宿泊した利用者の実人員は、前年同期に比べ14人減り104人でした。その内訳は、仮釈放者、執行猶予を受けている救護・援護者が90人(うち女性24人)、刑が終了した人など更生緊急保護者が14人(うち女性3人)でした。

単位：人

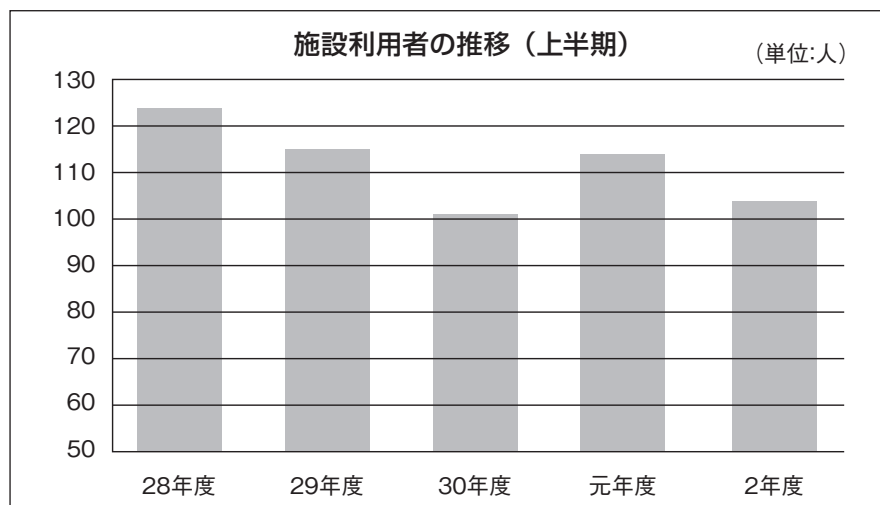
上半期年度	救護・援護者	更生緊急保護者	任意保護者	合計数
28年度	115(24)	7(1)	2(0)	124(25)
29年度	105(27)	10(1)	0	115(28)
30年度	82(24)	19(1)	0	101(25)
元年度	92(7)	21(3)	1(0)	114(10)
2年度	90(24)	14(3)	0	104(27)

*救護・援護者とは、仮釈放などで保護観察中の人

*更生緊急保護者とは、満期釈放者、起訴猶予者等の人

*任意保護者とは、ウィズ広島が任意に受け入れ保護する人

*()内は内数で女性利用者



■ウィズ広島役員等

【理事】山田勘一(理事長)、山田一夫(副理事長)、畠山昭雄(常務理事)、嘉屋 進(常務理事)、織建末子、中島和雄、和泉 眞、林 千秋、古屋由利子、高木一之、八崎則男
 【監事】柳原芳樹、坂吉英利
 【評議員】慶徳こすえ、木本正志、井町重遠、山本隆照、繁政秀子、平口さとみ、楠本次子、大野宣江、新宅典明、西田志都枝、内海幸一、石森雄一郎、岸本三悦子、加用雅愛、曾川恵二、宇恵一枝

【顧問】浅尾宰正

【参与】永田雅紀

■ウィズ広島職員

【施設長】稲垣 宏
 【補導主任】竹岡靖宏
 【補導員】田中博敏、沖村和夫、神田修悦、三笠公明
 【福祉専門員】岡本進佑、川岡 心、浅枝 恵
 【薬物専門員】高杉敬一、田坂典子
 【非常勤退所者フォローアップ支援員】白倉弘子
 【事務主任】玉井信子

【事務員】中村友貴

【調理主任】吉和栄枝

【調理員】江藤民子

【非常勤調理員】吉和真奈美

■人事異動

(退職) 藤原一喜 次長(1月7日付)

長い間、ありがとうございました。

さらなる受け入れの促進が課題

2020(令和2)年度 上半期(令2.4～令2.9)連結収支(一般会計と特別会計合算)の状況

収入 10,871 万円 支出 11,937 万円 繰越金 △ 1,066 万円

◆収入

令和2年度上半期の連結収支の状況は、収入において別館女性居室棟増築経費として一般会計から5千246万円を繰り入れるなどしました。その結果、収入総額で88.6%増の1億871万円となりました。

◆支出

支出においては、別館女性居室棟増築経費や女性居室棟完成に伴う減価償却費等増加のため78.8%、6千677万円大幅増となりました。

この結果として、令和2年度の収支はマイナス1千66万円となりました。

単位：万円

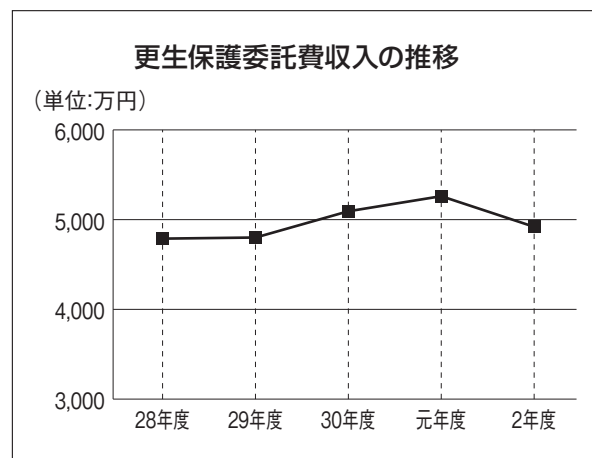
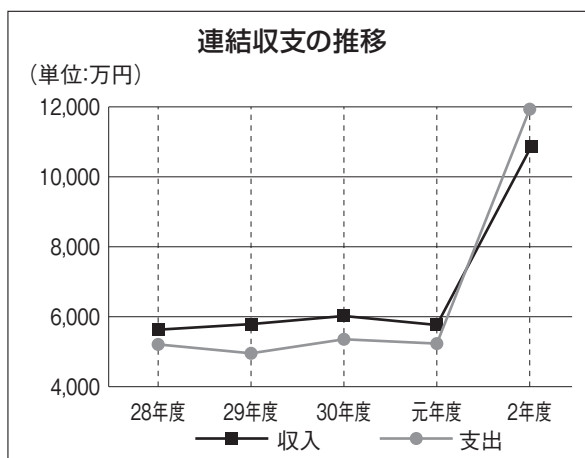
年度(上半期)	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
収入	5,629	5,789	6,021	5,764	10,871
支出	5,211	4,957	5,358	5,260	11,937

◆更生保護委託費収入の推移

単位：万円

年度(上半期)	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
収入	4,750	4,761	5,104	5,235	4,920

更生保護委託費は、前年同期に比べ6.0%減りました。この主な原因は、前年同期と比べ利用者実人員14人減少、新しく受け入れ準備支援計画書数が少なくなったことによるものです。



追悼 ～ 森山先生を偲んで



昨年の暮れ、1枚のハガキを受け取りました。そこには、「夫 森山博行は、8月23日に、心不全にて91歳の人生を閉じました…」とあり、近くの公園の晩秋風景が描かれた生前のスケッチ画がそえられていました。

氏は、長く広島家庭裁判所少年調査官として勤務され、後年各地を単身

赴任し定年退職後は、広島家庭裁判所家事調停委員としてご一緒しました。当時、財団法人更生保護会博光寮主幹、常務理事として就任していた私は、仮釈放者中間処遇指定施設として刑事施設から帰ってくる人々をカウンセリングで支援したいと人探しをしていました。1996(平成8)年、手元の家事調停委員名簿をめくっているとき、近くに在住の森山博行さんの名前を拝見し、ボランティアカウンセラーのお願いをしたことを懐かしく思い出します。

その後ウイズ広島は、「心のケア活動」としてSST(社会生活技能訓練)、コラージュ作成会等を加え各種の処遇プログラムが生まれました。その結果、2000(平成12)年、第2回瀬戸山賞をいただいたのでした。それは森山博行さんをはじめとする多くのボランティ

アのご支援の賜物だと感謝していません。氏は、その後もウイズの諸行事に参加され、また早朝カンファレンスで職員不在の事務室でひとり電話番支援してくださいました。昨年正月明け、「90歳になったのでウイズを卒業します」と、寂しげに階段を下りて帰られた姿が今でも臉に残ります。ウイズ23年の長い互縁でした。ありがとうございました。安らかに眠りください。

ウイズ広島理事長 山田 勘一



森山さんの吉島公園スケッチ

年賀状のおかげで「2号車」誕生！

ウイズ広島の低床ワゴン車は、3年前、年賀寄附金配分の助成を受けて購入し、現在、利用者の通院、福祉事務所への送迎などに活用しています。しかしながら、定員45名の施設に1台では、十分な対応ができていませんでした。このたび日本郵便(株)2020(令和2)

年度年賀寄附金配分の助成を受け、2号車としての軽自動車(日産デイズ)を購入することができました。車体の形状がステーションワゴンで高齢・障害のある利用者に優しく、おかげさまで職員の活動の幅も広がっています。



つながる退所者支援

白倉 弘子
退所者フォローアップ支援員

2020年4月1日から始まった「退所者フォローアップ支援」は今、少しずつ裾野を広げています。

まず「退所者支援」として、入所中の皆さんと施設にいる時からおしゃべりをさせてもらい、今後も気軽に声をかけられる関係を築き、退所後に相談に来られた際は、コーヒーとお菓子で迎えて、近況や悩み、困りごとなどを自由に満足いくまで話してもらっています。

なるべく一人で悩まないよう、そして孤独感を感じないように手紙や電話で連絡をとったり、誕生日祝いのカードを送っています。併せて、施設外部からお招きしているボランティアカウンセリングの先生の紹介も行い、誰でも利用できることを伝えています。

「抹茶カフェ」「え～ぞうカフェ」ではピアサポーター（退所者有志）三名の知恵と力を借りて、共に活動をしています。

「ロスフード」では、株式会社ハローズ海田市駅前店長様より月二回、更生保護施設等支援協議会の藤本様より月一回程度、たくさんの食料品などをいただいています。自力で頑張っているものの生計が苦しい方たちなどのフォローアップ支援とし

て、必要な物をより多くの人に渡しています。

その時の皆さんの笑顔！

「助かります」「有り難いです！」と、本当に嬉しそうに受け取って、大事そうに持って帰られます。退所して、身内を頼りに県外へ行かれた方もおられますが、「罪を犯した者の気持ちを分かってくれない」「全てさらけ出して話せない」など、不安や孤独を感じる事が多く、中には「なぜウイズ広島の近くに住まなかったのか」、後悔していると手紙をくださいます。退所からいくら時間が経っていようと、孤独感や不安感は薄らぎにくいようです。

そのような状況の中で、昔の仲間からの連絡があると、ふらっと繋がってしまいそうになる…。そういった意味でも「ウイズを退所した後も温かい思いで見守り応援してくれる人がいる」と感じられるこの支援は、彼ら彼女らが頑張っていく大きな力になっていると思っています。

まだまだ誕生したばかりで試行錯誤の事業ですが、今後も再犯への歯止めになり、社会復帰の支えになれば…という気持ちで一人ひとりに寄り添いながら活動したいと思います。改めて、ご協力いただいている方々に深く感謝申し上げます。



更生保護施設等支援協議会の藤本晴男さんからロスフード支援



(株)ハローズ海田市駅前店からたくさんのロスフード支援

with WH+

ウィズカフェ、力強いサポーター

茶道石州流宗家 教授 **と い す み こ** 井 壽美子さん



「えっ？抹茶を…ですか？」

山田理事長から声をかけられたとき、私は思わず声をあげました。なぜなら「カフェ」に出す『お点前』のお誘いだったのです。心の中で「抹茶が一般受けするのだろうか」という不安がよぎったことを、今でも憶えています。

しかし「お茶が好き」「人が好き」だから、やってみよう。初めは少人数の参加者でしたが、次第に多くの方に足を運

んでいただくようになりました。

足を痛め、正座が難しくなってしまう「もう、お茶を辞めようか」と考えていた時に声をかけてくださった理事長。新たな喜びを受け取ることが出来、改めてお礼が言いたいです。

とにかく、集まる皆さんの雰囲気と何よりも優しい笑顔が大好きなんです。よく皆さんからお礼の言葉が言われますが、私の方が喜びをもらっており、本当に「感謝」という言葉しか思いつきません。

カフェでは「先生って呼ばないでね」と言っています。確かにご参加の皆さんより『先に生まれている』かもしれませんが、絵心のない私には出来ない素敵な看板を描いてくれたり、細やかなお手伝いをしてくれるピアサポーターたち、そしてコロナ禍で大変な中でも寄ってくれる方たち。心が一つになって時間を過ごせることが本当に幸せです。

堅苦しく思われがちな抹茶ですが、苦ければ「苦い」と言ってくれていいのです。でもね、コロナ禍の今、役立つこともあ

るんですよ。抹茶は、殺菌力はないけれど、抗菌力はあるんです。だから「しっかり飲んでね」と話しています。そして、状況が落ち着いたら、いつか外で赤い『野点傘※』を立ててお点前をやってみたいですね。吉島公園の桜の下とかで…。季節を感じて、ゆったりと味わっていただきたいものです。

「ウィズカフェ」では、ご参加の皆さんから勉強させてもらったり、楽しませてもらったり。生きている限り続けたい。心からそう思っています。

※野点傘(のだてがさ)…野外のお茶席(野点)で固定して使われる大きな赤い傘。



野点傘のもとコロナ時代の、それでも在在者退所者賑やかにウィズカフェ（抹茶）



ポップコーンを口に入れながら、黙々と見入る、え～ぞうカフェ



更生保護法人広島県更生保護協会 松藤理事長から助成金を受ける山田理事長



コロナ下の恩賜財団済生会広島病院 隅井支部長ほか、スタッフによる健康診断



河岸遊歩道を清掃する利用者達



日曜日の朝、無心にコラージュ作成に取り組む女性利用者



今日もウイズ
〈職員編〉

託されたご寄付は、

寄付で振り返るウィズ広島

2020 (令和2) 年7月1日から12月31日までに、皆様からお預かりしたご寄付は、次のとおりです。

7月

一般財団法人多山報恩会：現金1,000,000円、丹羽邦子：作業服7着、マスク50枚、匿名：単行本10冊、土井壽美子：お菓子16個、匿名：単行本7冊、匿名：単行本47冊、中地区更生保護女性会：給食活動、給食材料、そうめん、平口さとみ：そうめん30束、味付もみのり400g、黒木至美：手作りマスク42枚(写真①)、ロスフード支援 更生保護施設等支援協議会 藤本晴男：ごぼうつけもの20個、アップルジュース75本、パン粉1kg、インスタントラーメン7袋、スナック菓子15袋ほか150点、藤原薩子：たまねぎ20kg、匿名：女性衣類18着、女性ぼうし12枚、カバン8個、水主町食糧企業組合：乾燥うどん5束

8月

広島県更生保護女性連盟：現金100,000円、(株)FORESTA：現金100,000円、木本正志：アイスクリーム(24個入り)1箱、西博：まんじゅう1箱、匿名：クッキー1箱、朝倉裕子：梨1箱、木本正志：アイスクリーム(24個入り)1箱、東地区更生保護女性会：給食活動、給食材料、オリーブオイル1ℓ、スポーツ飲料500ml48本、鴨下康子：食材一式、ロスフード支援 (株)ハローズ海田市駅前店：白菜9つ、味ポン30本、うどん9袋、ヨーグルト5個、焼そばセット5パックほか15点、渡辺君子：ようかん4個(カフェ用)、平口さとみ：きゅうり3本、なす2本、プチトマト300g、大葉60枚、石突

享子：ガスボンベ10本、シーツ7枚、毛布1枚

9月

中地区更生保護女性会：現金120,000円(愛のたより)、東地区更生保護女性会：現金115,000円(愛のたより)、南地区更生保護女性会：現金120,000円(愛のたより)、西地区更生保護女性会：現金210,000円(愛のたより)、安佐南地区更生保護女性会：現金150,000円(愛のたより)、安佐北地区更生保護女性会：現金100,000円(愛のたより)、広島安芸地区更生保護女性会：現金120,000円(愛のたより)、広島佐伯地区更生保護女性会：現金100,000円(愛のたより)、ロスフード支援 (株)ハローズ海田市駅前店：豆腐4ヶ入2パック、黒酢1ℓ1本、牛乳1ℓ1パック、ヨーグルト2個、バナナ2袋ほか11点、土井壽美子：お菓子(カフェ用)、佐藤丈倫：お菓子(カフェ用)マスク内パット、匿名：焼き菓子セット1箱、渡辺君子：ようかん4個(カフェ用)、南地区更生保護女性会：給食活動、給食材料、匿名：パジャマ7着、男性衣類1着、多山報恩会：本15冊、小川清子：アラビキマーマレード、平岡果代子：ハム、ソーメン、漬物、らっきょう、みかんの缶詰め、ロスフード支援 更生保護施設等支援協議会 藤本晴男：大根おろしソース12本、あんこう鍋のたれ40パック、カロリーメイト12本、せんべい6袋、おかし2個、茶葉6パック、油2本ほか112点、ロスフード支援 (株)ハローズ海

田市駅前店：焼そば3袋、お菓子7個、トマト26個、ハウレンソウ11束ほか22点、八崎則男：現金30,000円

10月

匿名：単行本7冊、ロスフード支援 (株)ハローズ海田市駅前店：大根7本、カボチャ2個、キウイ11個、みそ26袋ほか44点、西地区更生保護女性会：給食活動、給食材料、匿名：女性用下着2枚組4セット、土井壽美子：パンブキンもみじ10個、黒糖まんじゅう25個(ウィズカフェ用)、佐藤丈倫：安納芋納豆8袋(ウィズカフェ用)、匿名：扇風機1台、ロスフード支援 (株)ハローズ海田市駅前店：牛乳6パック、ヨーグルト7個、やきそば4袋、(株)ハローズ海田市駅前店：漬け物3袋ほか5点、大野宣江：米40kg、山本隆照：衣類13点、広島県地域生活定着支援センター：米50kg、服50着、スリッパ1足、ポーチ2個、紳士作業服3着、東広島地区更生保護女性会 福富支部：大根2本、白菜2株、白ネギ1束、青ねぎ8本、モロッコ豆180g、ナス6本、味噌1kgほか24点、木本正志：アイスクリーム(24個入り)1箱

11月

畠山昭雄：現金20,000円、ロスフード支援 (株)ハローズ海田市駅前店：ニンニク2個、ぶどう1パック、ホワイトマッシュルーム3パック、バナナ1房、スライスキャベツ1袋ほか4点、匿名：ワイシャツ3着、谷貴美子：婦人服146着、匿名：



宮崎県 黒木至美さんから、コロナ退散を願い手作りのアマビエマスク届く



年末年始に向けて広島紅葉ライオンズクラブの皆さんからたくさんのプレゼント

利用者、退所者につながります。

現金25,000円、佐藤丈倫：飲料品15本、イモようかん2箱、ピーナツまんじゅう2箱（カフェ用）、大竹地区更生保護女性会：現金20,000円、土井壽美子：菓子1箱、秋栗5個（カフェ用）、匿名：男性上着1着、女性靴1足、ハンガー12個ほか4点、広島県更生保護女性連盟：レモン9個、柿11個、安佐南地区更生保護女性会：給食活動、給食材料、植木真由美：大根、ピーマン、春菊、大下美恵子：靴1足、靴4個、傘2本、服16着、帽子1個、靴下4足、広島県更生保護女性連盟：鮭2本、ロスフード支援（株）ハローズ海田市駅前店：春菊3束、ちくわ1袋、レタス2玉、バナナ11本、牛乳2パック、たまご7パック、チョコ30袋ほか17点、（株）ファーストリテイリング：女性用肌着25着、平口さとみ：みかん3kg、葉もの野菜5つ、更生保護施設等支援協議会：傘2本、油5本、藤本晴男：チョコ68袋、コップ32個、エプロン2枚ほか83点、広島県更生保護施設連盟：現金100,000円、広島県地域生活定着支援センター：女性服、手袋、靴、スキーウェアなど52点

12月

嘉屋進：現金20,000円、匿名：本34冊、買名徹：カレンダー35枚、ボールペン40本、広島紅葉ライオンズクラブ：マスク100枚、時計1つ、シャツ5枚、ウェットティッシュ12パック、洗剤2箱、男性衣類10着、タオル47枚、ほか68点（写真②）、匿名：男性衣類10着、圓妙寺：みかん2箱、加用雅愛：カップ&ソーサー6セット、スプーン6本、まな板2枚、ゴミ箱3個、ふきん83枚、急須3個ほか19点、匿名：本9冊、田中八重子：カレンダー50枚、ロスフード支援（株）ハローズ海田市駅前店：ミニタオル16枚、キウイ12個、コーヒー17個、牛乳2パック、ヨーグルト3個、グラタン6個、バナナ18本ほか13点（写真③）、土井壽美子：クッキー4箱（カフェ用）、匿名：タバコ6箱、佐藤丈倫：はちみつ1瓶、西博：現金3,000円、横田鶴子：現金20,000円、バスタオル1枚、フェイスタオル6枚、ハンドタオル1枚、宮地真里：みかん15kg、西地区保護司会：洗濯洗剤12箱、泡ハンドソープ11本、タオル92枚、米5kg、婦人ソックス25足、紳士ソックス8足、パンスト2枚、作業着上着4着、作業ズボン3着、Yシャツ2着、紳士服4着、婦人服

5着ほか140点（写真④）、ロスフード支援 更生保護施設等支援協議会 藤本晴男：クッキングペーパー18箱、米15kg、オリーブオイル1本、のり3袋、マスク7枚、サラダ油12本、味ポン2本ほか105点（写真⑤）、藤井栄子：米45kg、靴下74足、軍手19枚、タオル11枚（写真⑥）、畠山昭雄：現金10,000円、堀江洋治：お餅12袋、山田勘一：ゆず16kg、広島県更生保護女性連盟：現金20,000円（クリスマスデイナー材料代）（写真⑦）、現金20,000円（餅代）、現金10,000円、幟建末子：クリスマスケーキ40個（写真⑧）、広島市地区更生保護女性会連絡協議会：クリスマスプレゼント35個（写真⑧）、山田陽子：とり足30本（写真⑧）、水主町食糧：乾麺うどん10束、西民恵：菓子58袋、匿名：ラーメン45個、藤原薩子：みかん1箱、ロスフード支援（株）ハローズ海田市駅前店：さつまいも6本、豆腐4丁、焼きそば9袋、バナナ7房、春菊3袋、アボガド3個ほか19点、匿名：タオルケット6枚、佐藤寛士：尿もれパット1個、タオル2枚、作業着上15着、作業着下1着、もち2袋、ヘアースプレー2本、米崎一郎：カレンダー27本、広島駅弁当（株）：お節弁当35個（写真⑨）



④ 年末年始に向けて西地区保護司会の皆さんからたくさんの贈物！



⑥ 福山地区更生保護女性会 藤井栄子さんから冬のプレゼント



⑦ 広島県更生保護女性連盟 幟建会長から餅代等のご寄付を受ける山田理事長



⑧ 広島県更生保護女性連盟 幟建会長、山田副会長からクリスマスケーキ、チキン及び広島市地区更生保護女性会連絡協議会からのX'masプレゼント



⑨ コロナ下、今年は食堂で広島駅弁当（株）プレゼントのお節を食べた

〈注〉写真③、写真⑤は5ページ参照

みなさまの会費は、ウィズ広島の援助活動を支えます

2020(令和2)年度会員	155 会員
会費収入	175万2,000 円
ウィズ広島への寄付	140 万円

2020(令和2)年12月31日現在



コロナ下に、活動進める迫谷会長

2020(令和2)年12月31日現在の会員は155会員、うち個人会員は87会員、保護司会23会員、更生保護女性会21会員、企業・法人24会員です。2020(令和2)年8月1日から12月31日までに会費をお預かりした方々は次のとおりです。

ウィズ広島賛助会会長 **迫谷 富三**

【企業・法人会員】

アイテレコムサービス㈱、㈱MTG マネジメント、㈱太田鋳造所、(有)果青園サワダ、水主町食糧企業組合、(有)共伸家具製作所、境谷工業㈱、㈱さこたに、(有)さこたに、サニーライフ高須、㈱島田鉄工所、㈱綜企画設計、(有)田中剛産業、㈱チューガイ、錦建設㈱、広島駅弁当㈱、㈱広島ゴルフショップ、㈱FUkafori、㈱福正建設、㈱本多、三菱電機ビルテクノサービス㈱、(有)森國商会

【保護司会会員】

安芸高田地区保護司会、安佐北地区保護司会、安佐南地区保護司会、尾道地区保護司会、呉地区保護司会、庄原地区保護司会、竹原大崎地区保護司会、中地区保護司会、西地区保護司会、廿日市地区保護司会、東地区保護司会、東広島地区保護司会、広島安芸地区保護司会、広島佐伯地区保護司会、府中地区保護司会、南地区保護司会、山県地区保護司会

【更生保護女性会】

安佐北地区更生保護女性会、安佐南地区更生保護女性会、尾道地区更生保護女性会、呉地区更生保護女性会、庄原地区更生保護女性会、竹原大崎地区更生保護女性会、西地区更生保護女性会、東地区更生保護女性会、東広島地区更生保護女性会、広島安芸地区更生保護女性会、広島佐伯地区更生保護女性会、府中地区更生保護女性会、南地区更生保護女性会、三次地区更生保護女性会、山県地区更生保護女性会

【個人会員】

浅尾幸正、浅尾典子、石森雄一郎、和泉 眞、齋美智江、井町重遠、大上ヨシエ、大田美穂子、大庭操子、岡田 忍、加藤順子、鴨下康子、吉川水貴、木原正壽、木村美代子、木元千鶴、楠本次子、古屋由利子、先小山英夫、迫谷富三、迫谷浩司、迫谷政則、繁政秀子、新宅典明、川后昭子、曾川恵二、反田哲顕、高羽千尋、高藤邦彦、竹内明子、田中武子、田中裕紀子、田部恭子、坪井静枝、寺田 博、土井壽美子、中川武子、中本忠子、中元良子、西川照顕、西田志都枝、西 民恵、能美直哉、野口真弓、織建末子、野村コズエ、原田慧子、平岡果代子、平口さとみ、藤島秀孝、藤原哲子、堀江洋治、松浦和子、恵木田鶴子、本西 隆、森野敏章、森平悦子、森実博美、山下 隆、山本隆照

■ウィズ広島賛助会役員

【会長】迫谷富三 【副会長】林 千秋、反田哲顕 【理事】先小山英夫、宇恵一枝、深堀 勝、曾川恵二

【監事】堀江洋治、山本隆照

以上